

議会報告会報告書

1. 開催地区名 男鹿中地区
2. 開催日時 令和5年5月27日(土) 16時00分から17時42分まで
3. 出席議員 畠山 富勝(代表者) 笹川 圭光(職務代理者)
古仲 清尚 蓬田 司 鈴木 元章
4. 参加者数 17名

5. 意見・要望等

(1) 議会に対する事項

- ① 船越こども園の建設地選定や事業費増額、温浴ランドおがの譲渡や廃止も含め、行政側の一方的な手法で事業が進められ、透明性がないような現状に見受けられる。議会と行政は車の両輪に例えられるが、議会側の監視機能が見えてこない。市民のために議論をするような議会であっていただきたいと考えるが、これまで議会側の提案で行政を動かした事例があれば教えていただきたい。
- ② 温浴ランドおがが廃止された場合、北部の活性化策として次なる案は議会として持ち合わせているか。
- ③ 企業誘致を含めた働く場所の確保について、議会で議論がなされているか。

(2) 市政に対する事項

- ① 空き家等除却費補助金の拡充について、今後ますます空き家が増加していくことが予想され、それに伴い除却費補助金が増大していくことも懸念されるが、今後の事業計画や予算措置はどのような考えをもって進めていくつもりか。
- ② 空き家等除却費補助金について、景観や周辺への影響等の判断基準はあるのか。また、町内会が解体する場合の補助率や負担額はどうか。

- ③ 懸案事項であった男鹿中公民館体育館の屋根改修について、ようやく予算化及び事業化されたことは大変ありがたい。
- ④ 船越こども園の建設について、場所ありきで建設地が決定したのではないか。また、将来人口推計を見据えた規模の施設となっているのか。さらには、将来的に入園者が定員割れするなど無駄な建物にはならないか。
- ⑤ 温浴ランドおがについて、譲渡先がなければ廃止するとしているが、行政として市民の福利厚生を考慮するのであれば、市民にそのような場を与えてしかるべきである。損得勘定なくして赤字であっても存続していただきたい。
- ⑥ 十二桜森林公園について、どのような考えで整備を行っているのか。整備するのであればさらなる利活用を模索していただきたい。
- ⑦ 昨年要望した滝川河川の土砂除去作業について、県からは今までにないくらいの距離数を実施していただき大変ありがたい。今後も引き続きお願いする。
- ⑧ 男鹿中地区の寺院に新たに住職が一家で転入することになったが、政教分離の問題はあるものの、移住定住の観点から、居住部分のトイレ改修における合併処理浄化槽設置の補助はできないものか。
- ⑨ 新たな地域コミュニティセンターについて、昨年秋頃、地域の声を吸い上げるための意見交換会が男鹿中地区でも実施されたが、その後の経過報告等が一切ないまま本年3月定例会に議案が提出された。このような事業の進め方により地域住民は非常に行政不信となっている。

6. 特記事項

■協議等が必要な事項

(1) 議会に対する事項

なし

(2) 市政に対する事項

5. (2)のうち、①、④、⑤、⑧、⑨の事項について